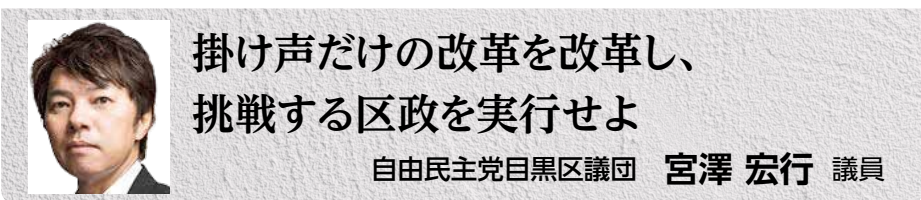


区政を問う 第4回定例会

一般質問と答弁 要旨

11月22日、24日に行われた一般質問は、14人の議員から広範囲の区政課題を質問し、区長等から答弁がありました。その一部を紹介します。

詳細は、ホームページのインターネット議会中継(右コード)で録画をご覧ください。



掛け声だけの改革を改革し、挑戦する区政を実行せよ

自由民主党目黒区議団 宮澤 宏行 議員

【目黒区ゼロカーボンシティ(※1)を表明せよ】 現代的課題に対して果敢に挑戦せよ。

問 前例慣習に埋没せずエビデンスに基づき、改革区政の旗印となりうる **区長** 基本計画および実施計画の改定手続きを進める中の適切な時期に、

行うことを想定している。

【新たな公民連携で区政を成長発展させよ】

問 イノベーション(※2)を阻む縦割り主義と体質を克服し、公共の担い手意識を持つ民間企業・民間人材と協働せよ。

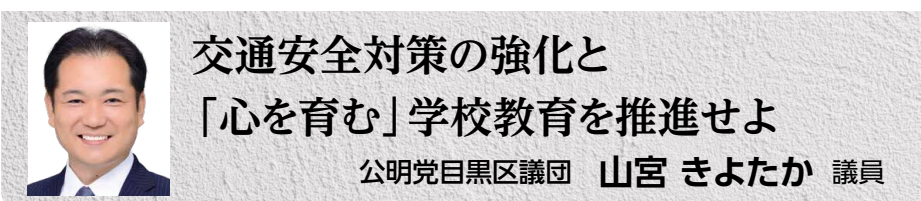
区長 今後もさまざまな形で公民連携の手法を効果的に取り入れながら、魅

力ある区政運営の継続、さらなる発展につなげていく。

《用語解説》

※1 **ゼロカーボンシティ** 2050年までに二酸化炭素実質排出ゼロを目指す旨を公表した地方自治体。

※2 **イノベーション** 革新的な取り組み。



交通安全対策の強化と「心を育む」学校教育を推進せよ

公明党目黒区議団 山宮 きよたか 議員

【都市基盤の保全について】 速やかに処置せよ。

問 (1)通学・通園路の交通安全対策を強化せよ。(2)生活道路の安全性を強化し周知せよ。(3)自転車走行空間の整備は、[LINE(※1)を活用した通報システム]で危険箇所を

区長 (1)子どもの交通安全環境の一層の向上を推進していく。(2)安全性を強化し、周知方法を検討する。(3)通報システムを構築し、速やかに処置する取り組みを進めている。

【学校教育の推進について】

問 (1)SDGs(※2)教育の充実について。(2)オリパラ教育は、子どもの心に残る取り組みを実施せよ。(3)食育を守り育むため、地域の生産者に寄付を募るなど働きかけ、特別給食を拡充せよ。

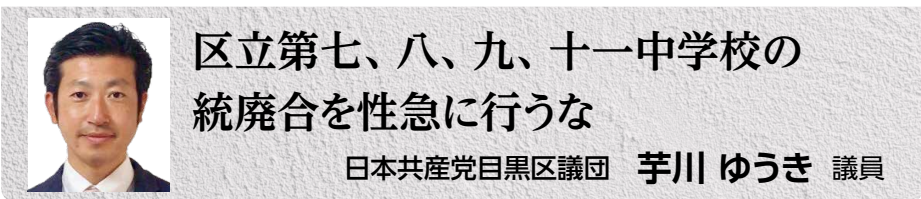
教育長 (1)各学校の持続可能な開発のための教育を推進していく。(2)各学校の取り組みを支援していく。(3)特別給食の維持、充実に努め、今後も

地域の協力を得ていく。

《用語解説》

※1 **LINE** SNSの無料通話アプリ

※2 **SDGs** 国連で採択された持続可能な開発目標。貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを楽しむことができるようにすることを指し、普遍的な行動を呼びかけている。



区立第七、八、九、十一中学校の統廃合を性急に行うな

日本共産党目黒区議団 芋川 ゆうき 議員

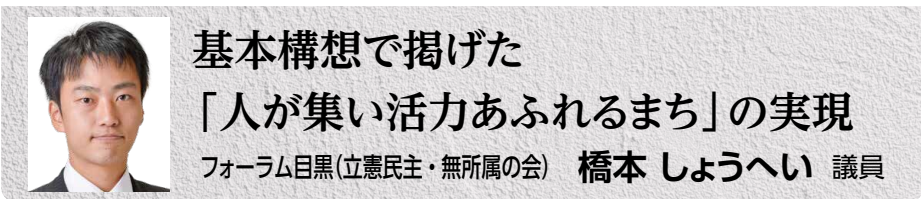
問 (1)子ども条例の意見表明権に基づいて、子どもたちの意見を広くきけ。(2)統廃合が子どもたちに

与える影響について検討したのか。(3)学区が広がることによる子どもたちの負担はどうするのか。(4)

統廃合を契機として魅力ある学校にするなどの方便を使わず、公教育として全ての学校で等しく努力すべきではないのか。(5)地域との関わり、地域避難所を守れ。

教育長 (1)子どもたちの意見を聞き、参加する機会を設ける。(2)生きる力を育むため、人間関係の広がり確保

できる学校規模が必要である。(3)通学負担の緩和措置にも対応する。(4)全ての区立中学校で特色ある教育活動を一層充実する。(5)地域ぐるみで学校づくりを進め、地域避難所の機能維持は、区長部局と連携して検討する。



基本構想で掲げた「人が集い活力あふれるまち」の実現

フォーラム目黒(立憲民主・無所属の会) 橋本 しょうへい 議員

【地域コミュニティ活動の活性化】 はいかがが。(2)地域活動団体と地域の課題解決に向けて連携・協力

問 (1)第46回目黒区世論調査では町会や自治会の加入方法が分からないと答えた30代が多い。こうした世代を念頭においた施策を打って **区長** (1)「コミュニティ施策の今後の

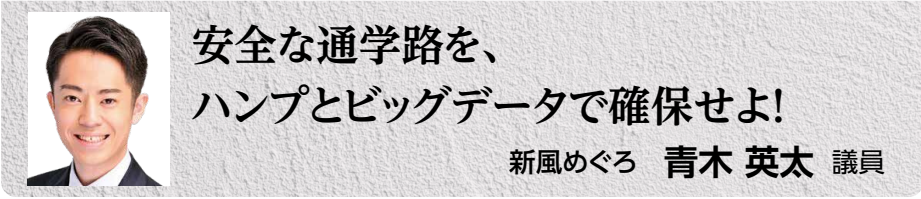
進め方]で、町会・自治会の加入促進を含め、地域コミュニティに関する課題を整理した。そこに示す「当面の具体的取組」を継続して実施していく。(2)地域の課題を解決するための協議組織としての機能を持つ「住区住民会議」に対し、その役割が果たせるよう支援する。

【地域に根ざした産業の振興】

問 魅力ある商店街の持続的な発展を支えるためには、今以上に密な連

携による区内の事業者の巻き込みが必要になると考えられるが、いかがお考えか。

区長 区民や商店会の声を聞き、連携を強化しながら、魅力と活力にあふれる商店街としての発展のために区としてできる限りの支援に努める。



安全な通学路を、ハンパとビッグデータで確保せよ!

新風めぐろ 青木 英太 議員

【子どもたちが安心して通学できる環境を】

問 通学路における安全確保のため、スピードの抑制が期待されるハンパ(※1)の導入や、ETC2.0などのビッグデータ(※2)を活用するべきではないか。

区長 ハンパなどの物理的な対策も検

討する。学芸大学駅周辺地区の生活道路対策エリアでは、国からビッグデータをもらった。今後、安全対策が終わった後の事後評価に、ビッグデータを活用していく。

【デジタルとリアル融合を】

問 (1)区民の更なる利便性の向上として電子申請の活用幅を広げるべ

きではないか。(2)地区サービス事務所の窓口においてオンライン相談を導入し、機能拡充をするべきではないか。

区長 (1)国の動きも踏まえながら、区のDX(※3)の取り組みの一つとして、

《用語解説》

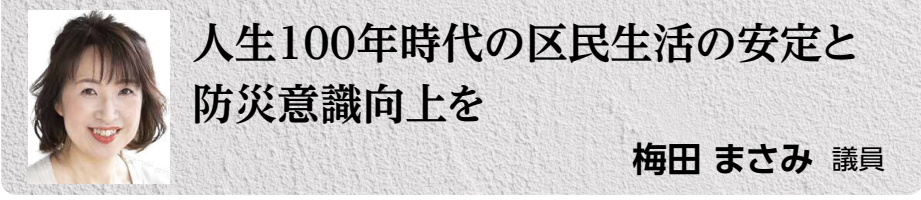
※1 **ハンパ** 交通安全対策のために、道路の路面に設けられた凸状の部分のこと。

※2 **ETC2.0ビッグデータ** 高速道路の自動料金収受および実際に走行している自動車のデータとして、急減速、

さまざまな行政手続きを電子により行うことができるように検討する。(2)総合庁舎の各所管課と地区サービス事務所とのオンライン相談の導入は、その必要性を含めて研究課題と捉えている。

急ハンドル、速度、経路データが収集できるシステム。

※3 **DX(デジタル・トランスフォーメーション)** デジタル技術やデータの活用で、提供するサービスをニーズに対応したより良い方向性に变化させ、業務や組織などを革新していくこと。



人生100年時代の区民生活の安定と防災意識向上を

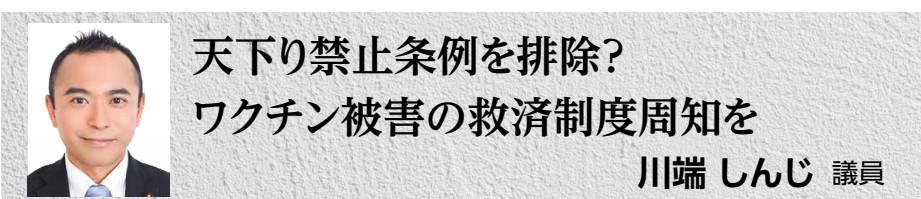
梅田 まさみ 議員

【人生100年時代の区民生活の安定】

問 (1)お金に関する相談支援について。寿命が長くなり、経済的な準備を自助努力する時代になった。区民の生活を支援するためにお金の相談窓口を設置することが望まし

いが見解を問う。(2)人生100年時代に対応できる学び直しが必要である。リカレント教育(※1)の推進を問う。

区長 (1)サポートを強化していく必要性を感じており、区民相談事業の一環



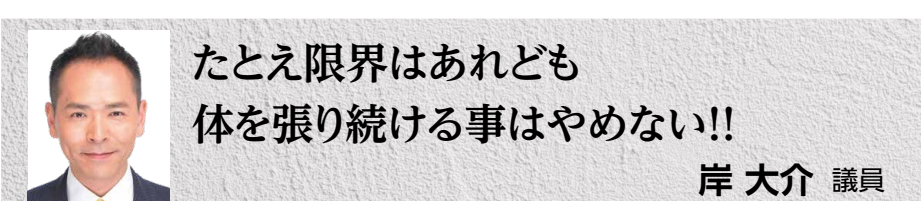
天下り禁止条例を排除？ワクチン被害の救済制度周知を

川端 しんじ 議員

【区民の信頼確保のための退職管理を】

問 (1)地方公務員法改正により元職

員による働きかけが規制強化されたが、退職管理条例を定めない理由を問う。(2)再就職先の推薦職

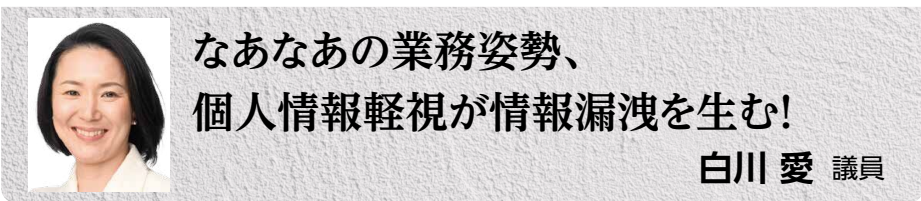


たとえ限界はあれども体を張り続ける事はやめない!!

岸 大介 議員

問 保育行政には、コロナ禍において社会環境・保護者の働き方の容

への迅速な対応を。**区長** 子ども総合計画に基づく施策を



なあなあ業務姿勢、個人情報軽視が情報漏洩を生む!

白川 愛 議員

としてどのようなことができるのか、具体的に検討する。**教育長** (2)学習環境の整備を進めるとともに、学び直しのきっかけにつながる生涯学習事業の充実に努める。

【地域の防災意識向上】

問 (1)地域に積極的に関わり防災意識向上を図るべきだが取り組みを問う。(2)マンションにおける防災訓練の現状を問う。

区長 (1)幅広い世代の区民が参加で

きような訓練を地域と共に検討する。(2)起震車などの向出や講演の実績はあるが、マンション単体の防災訓練の実施状況は、把握していない。

《用語解説》

※1 **リカレント教育** 社会人になってからも、学校などに戻り、学習し、また社会へ出ることを生涯続けていくことができる教育システム。

員リストを作成している理由を問う。

区長 (1)区政の透明性向上の取り組みの公表で同様の効果が図られている。条例の制定等は、今後、調査・研究する。(2)当該職員の知識や経験、団体が求める人材とその職務等を踏まえ、推薦を行っている。

【ワクチンによる健康被害救済制度】

問 ワクチン接種による死亡や健康被害報告があるが、救済制度の周知を問う。

区長 接種券同封の説明書に明記し、問診票で理解したか確認している。接種後に渡す書面でも案内をしている。

着実に推進していく。

問 首都災害の懸念からすれば、学校施設更新計画の推進を早急に求める。新しい学校を作るという気概と矜持は地域住民とともに。

教育長 地域の安全・安心のために、区長部局と連携し、計画を着実に進

めていく。

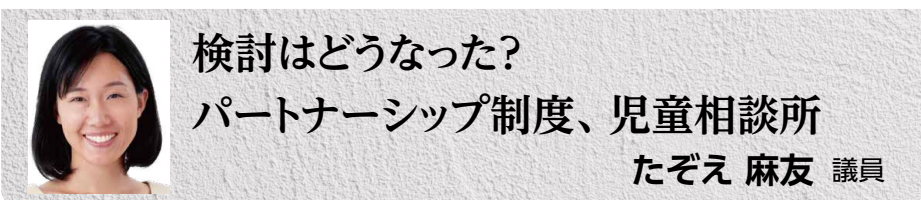
問 育休取得率の向上こそ国の少子化・人口減少対策の本丸。啓発で終わらず、非正規労働者等も利用できる仕組みづくりを。

区長 制度の趣旨を踏まえ、引き続き必要な対応に努める。

問 今年9月までの5カ月で5件の個人情報情報が紛失・漏洩した。リスク把握が未熟で業務上の丁寧な対応ができていない証拠である。書類管理における施錠の徹底すらなされていない。これは区政の信頼を著しく

損なうものである。区長は管理者として謝罪とともに再発防止を区民に誓うべきではないか。

区長 管理の更なる徹底と再発防止について、謝罪を含め検討していく。



検討はどうなった？パートナーシップ制度、児童相談所

たぞえ 麻友 議員

問 性の多様性を促進する本区では、条例改正や相談窓口の整備等を行っている。他自治体のパートナーシップ制度とファミリーシップ制度(※1)の実施が増えているが、区の

今後の展開を問う。**区長** 両制度は、併せて考えていくべき課題と捉え、検討を深めていく。

問 「区立児童相談所設置に向けた基本的な考え方」では、児童相談所設

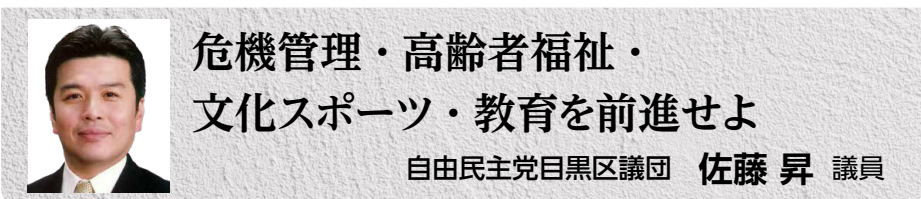
置の通過点として、都の児童相談所と共同でサテライトオフィス(※2)を設置していきたいとのことだが、その意義と位置づけについて問う。

区長 子ども家庭支援センターとの連携強化が図られ、それぞれの役割を生かした対応を可能とし、区立児童相談所設置に向けた人材育成にも資するものである。

《用語解説》

※1 **パートナーシップ制度、ファミリーシップ制度** 自治体が同性のカップルを婚姻に相当する関係と認める制度。さらに拡充して、その子どもまで含める制度。

※2 **サテライトオフィス** 本庁舎・本部から離れた場所に設置されたオフィスのこと。



危機管理・高齢者福祉・文化スポーツ・教育を前進せよ

自由民主党目黒区議団 佐藤 昇 議員

【危機管理組織を計画的に強化せよ】

問 災害時の人的(他自治体職員・警察・消防・自衛隊・ボランティア)な受援・応援計画は部局横断的な組織体制で取り組み。

区長 今年度末を目途に災害時の人的受援・応援計画を策定する。**【高齢者の福祉と特別養護老人ホーム】**

問 特別養護老人ホームの待機者は約

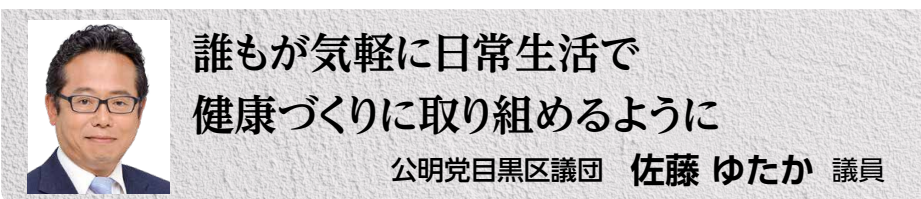
800名。特別養護老人ホームの整備と地域密着でのサービスなど高齢者福祉を進めよ。

区長 公有地等の確保に努め、区の整備費補助により、民間事業者による特別養護老人ホームの整備を進める。**問** 東京2020オリンピック・パラリンピック大会のレガシーを目黒の文化芸術・スポーツ・教育・地域交流に生かせ。

区長 大会機運醸成事業や中央体育館の大規模改修等で得られた成果をレガシーと捉え、次代に引き継いでいく。

【教員の働き方改革】

問 教員の質を向上し、生き生きと働けるよう「働き方改革」を充実せよ。**教育長** 引き続き、教育の質の向上と働き方改革の両立に努める。



誰もが気軽に日常生活で健康づくりに取り組めるように

公明党目黒区議団 佐藤 ゆたか 議員

【健康で自分らしく暮らせるまちづくりについて】

問 (1)今年度、「めぐろ手ぬぐい体操」を若い世代にも広めていくのが、

(2)「めぐろ手ぬぐい体操」を周知せよ。(3)「めぐろウォーキングマップ」のアプリ化で、多くの区民が運動に参加できると考えるが見解は、

区長 (1)全世代に広めて、区の健康寿命の延伸に努める。(2)今後も周知の拡充に努める。(3)導入実績のある自治体や関連する民間事業者から情報を収集しつつ、調査・研究が必要である。**【アイフレイル(※1)対策について】**

問 目の病気は気づきにくい。アイフレイルの啓発と眼科検診対象年齢拡大が必要。

《用語解説》

※1 **アイフレイル** 加齢に伴って目の脆弱性が増加することに、さまざまな外的・内的要因が加わることによって視機能が低下した状態。また、そのリスクが高い状態。